

福祉サービス第三者評価結果報告書(平成30年度)

年 月 日

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 171-0022

所在地 東京都豊島区南池袋2-49-7池袋パークビル1F

評価機関名 パブリックサービスR&C合同会社

認証評価機関番号

機構 09 - 190

電話番号 03-4570-8659

代表者氏名 代表社員 臼井 淳

印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	吉田 紅愛	経営	H0301076
	②	狩野 節子	福祉	H1101048
	③	青木 みな子	福祉	H1401019
	④	臼井 淳	経営	H0405013
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	家庭的保育事業			
評価対象事業所名称	保育ルームひよこっこはちまん			
事業所連絡先	〒	183-0016		
	所在地	東京都府中市八幡町1-17-1		
	Tel	042-319-1424		
事業所代表者氏名	園長 今井 千晴			
契約日	2018 年 7 月 18 日			
利用者調査票配付日(実施日)	2018 年 8 月 7 日			
利用者調査結果報告日	2018 年 10 月 14 日			
自己評価の調査票配付日	2018 年 8 月 7 日			
自己評価結果報告日	2018 年 10 月 14 日			
訪問調査日	2018 年 10 月 19 日			
評価合議日	2018 年 11 月 28 日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	第三者評価の実施にあたり、当機関における評価の進め方やスケジュールについて園と事前打ち合わせを行い、職員に対する自己評価方法の説明会を開催しました。利用者調査は、入園している全ての子どもの保護者を対象としたアンケート調査を実施しました。事業評価は、経営層及び職員個別の自己評価結果並びに利用者調査結果を分析した上で、評価者間で調査時の着眼点を共有し、訪問調査に臨みました。訪問調査では、園長や関係職員に対するヒアリングと書類の確認を行いました。訪問調査後、評価者間合議により評価結果をまとめました。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。
本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

2018 年 12 月 日

事業者代表者氏名

印

1	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>1) 個々の違いを尊重する 2) 自己肯定感を育む 3) 生きる力につながる表現力 4) 過程を大切にゆっくり見守る保育 5) 子どもに何を体験させたいか？を常に考える</p>
2	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <p>プロとして子どもたちと関わる。持っている技術・知識を生かし、自己満足ではなく子どもが楽しんでいるか、発達にあっているか、活動の中に「気づき」はあるかを常に意識する。(障害も含め)子どもの個性を理解し、時に見守り、時に積極的に関わる。仕事上の意見の相違は互いによく話し合い協調し、より良い保育が行えるように柔軟に対応する努力を惜しまない。子どもの感情に共感しながらともに楽しむことができる。大人として誰にでも礼儀正しく、誠意をもって接する。遊びに深みを持たせるきっかけづくりを惜しまない。等</p> <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <p>子どもの言動を常に肯定的に考える。コミュニケーション力(柔軟な発想)。職員自身の自己肯定感の確立。</p>

調査対象

平成30年8月現在、保育ルームひよっこはちまんに在籍している子ども5名の保護者全世帯(4世帯)を対象として実施しました。

調査方法

アンケート方式により実施しました。事前に調査の概略を記したお知らせを保育園内に掲示し、園の職員からアンケート調査票と返信用封筒を保護者に配布してもらいました。記入した調査票は、無記名・封かんの上、直接評価機関宛に郵送してもらい、回収する方法を取りました。

利用者総数

5

利用者家族総数(世帯)

4

共通評価項目による調査対象者数

4

共通評価項目による調査の有効回答者数

3

利用者家族総数に対する回答者割合(%)

75.0

利用者調査全体のコメント

総合的な満足度は、「大変満足」が100%(3名)という非常に高い評価が得られています。設問別でも、全17問中、「はい」との肯定的な回答割合100%が15問となっています。総合的な意見でも、「子どもへの接し方が丁寧で優しいので、子ども自身が優しく育っているように感じます」、「子どもも、保育所へ行くのを楽しんでいるのがこちらにも伝わってきます」、「戸外活動が毎日あり、身体能力向上につながっています」等の好意的なコメントが多く寄せられています。改善への意見・要望はみられませんでした。

利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	3	0	0	0
回答割合は、「はい」が100%となっています。 自由記述には、「家にはできない経験をたくさんさせて頂いて、ありがたく思っております」とのコメントが寄せられていました。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	3	0	0	0
回答割合は、「はい」が100%となっています。 自由記述には、コメントは寄せられていませんでした。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	3	0	0	0
回答割合は、「はい」が100%となっています。 自由記述には、コメントは寄せられていませんでした。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	3	0	0	0
回答割合は、「はい」が100%となっています。 自由記述には、コメントは寄せられていませんでした。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	3	0	0	0
回答割合は、「はい」が100%となっています。 自由記述には、コメントは寄せられていませんでした。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	3	0	0	0
回答割合は、「はい」が100%となっています。 自由記述には、コメントは寄せられていませんでした。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	3	0	0	0
回答割合は、「はい」が100%となっています。 自由記述には、コメントは寄せられていませんでした。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	2	1	0	0
回答割合は、「はい」が66.7%、「どちらともいえない」が33.3%となっています。 自由記述には、コメントは寄せられていませんでした。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	3	0	0	0
回答割合は、「はい」が100%となっています。 自由記述には、コメントは寄せられていませんでした。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	3	0	0	0
回答割合は、「はい」が100%となっています。 自由記述には、コメントは寄せられていませんでした。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	3	0	0	0
回答割合は、「はい」が100%となっています。 自由記述には、コメントは寄せられていませんでした。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	3	0	0	0
回答割合は、「はい」が100%となっています。 自由記述には、コメントは寄せられていませんでした。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	3	0	0	0
回答割合は、「はい」が100%となっています。 自由記述には、コメントは寄せられていませんでした。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	3	0	0	0
回答割合は、「はい」が100%となっています。 自由記述には、コメントは寄せられていませんでした。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	3	0	0	0
回答割合は、「はい」が100%となっています。 自由記述には、コメントは寄せられていませんでした。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	3	0	0	0
回答割合は、「はい」が100%となっています。 自由記述には、コメントは寄せられていませんでした。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	2	0	1	0
回答割合は、「はい」が66.7%、「いいえ」が33.3%となっています。 自由記述には、コメントは寄せられていませんでした。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/>非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している <input type="radio"/>非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている <input type="radio"/>非該当
	カテゴリ1の講評	
	家庭的な環境のもとでの個々の発達や心身ともに安定した成長を方針・目標としています 園の方針・目標として、①家庭的な環境のもとで個々の発達に応じた生活力を身につけること、②少人数での保育環境により心身共に安定した成長をすること、③「できた」に気持ち(達成感)を感じることを掲げ、保育のしおりに記載しています。あらゆる子どもたちを個々に支援する姿勢は、当園の名称の由来ともなっています。園長は、入職時や職員会議、入園説明会、重要事項説明書を通して、これらの考え方を説明し、園の姿勢が理解されるよう取り組んでいます。	
	園長は、法人の統括園長と連携し、保育や保護者との信頼関係作りを推進しています 日々の保育は園長(家庭的保育者)が責任者となり、日々の保育に入りながら、「主体性の育ちを見守る保育」を実践するために必要以上に声を掛けすぎないことなど、保育目標に沿った子どもへの関わりを指導しています。運営面の意思決定は統括園長(同一法人内の認可園園長)が行っています。キャリアアップ補助制度を活用し、園長のほか、1名がリーダー職にあります。園長は子ども一人ひとりの様子を把握するとともに、保護者との日々のかかわりの中で、各家庭との信頼関係作りや個々に応じた支援に努めています。	
	重要な案件は統括園長と園長が協議し、保護者には手紙や口頭で伝えています 園の運営や業務に関する重要案件は、必要に応じて統括園長と園長が相談しながら、検討・決定しています。保育内容に関しては、午睡中などに子どもを見守りながら適宜、話し合い、子どもや保護者の状況の共有・検討を行っています。保護者には月1回発行の園便りで決定事項を伝えています。今年度から食物アレルギーによる症状の発症リスクを低減させるため、小麦の除去を開始するにあたり、保護者には手紙とともに口頭でも主旨を説明し、理解を得るよう努めています。	

カテゴリ-2		
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリ-1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(○○○○○○)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 1/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(○●●)
評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(●●●)
評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー2の講評

行事アンケート結果の集約や園長連絡会への参加等、ニーズの把握に努めています

運動会や納涼会といった行事の前後には、日程や内容の希望、感想などを保護者に聞くアンケートを取り、結果を系列認可園で集約して、行事の企画運営に反映させています。職員の意向に関しては、年1回の園長面談や昼の打ち合わせでの投げかけ等を通じて把握・検討しています。地域のニーズや事業の動向は、市の保育園の園長連絡会への参加や保育情報誌の定期購読等を通じて把握しています。今後は具体的な取り組み課題を整理し、中・長期計画や事業計画に反映させることも期待されます。

地域に根付いた園となる第一歩として、子どもが地域に出掛ける活動を取り入れています

職員からの問題提起や提案があれば、統括園長と園長が相談し、対応を検討しています。地域との連携を深め、子どもたちが地域と関わりながらさまざまな体験ができるような体制づくりを模索しています。当園の存在を知ってもらうことを第一歩ととらえ、以前から、子どもたちが地域の商店で買い物をするなど、地域に出掛けて行く活動を保育に取り入れています。地域のニーズに関しては、見学者とのやり取りの中で意識的に把握し、記録に残し、活用する取り組みも期待されます。

取り組み課題を明確にし、目標を設定して推進していくことが期待されます

年度末に非常勤職員を含めた全職員が集まる夜間職員会議を開催し、園長から、年度の反省と翌年度の方向性について職員に伝えていきます。口頭での説明については、資料を用意したり記録を残すことで、より職員に伝えやすくなると思われます。また、今後は、具体的な取り組み課題や目標を設定し、推進していく取り組みも期待されます。それにより、園として目指す姿や、それに向けて現在の園がどのような位置にあるかがより明確になり、職員が各自の役割について一層認識を深めることも期待できます。

カテゴリー3

3 経営における社会的責任

サブカテゴリー1(3-1)

社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

2/2

評価項目1

社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる

評点(〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー2(3-2)

利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

4/4

評価項目1

利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている

評点(〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2

虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている

評点(〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-3(3-3)

地域の福祉に役立つ取り組みを行っている

サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況

2/5

評価項目1

透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる

評点(○●)

評価	標準項目	
○あり ●なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当

評価項目2

地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている

評点(○●●)

評価	標準項目	
○あり ●なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	○非該当
○あり ●なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当

カテゴリ-3の講評

職員が守るべき法・規範・倫理等は就業規則やマニュアル等に明記し、周知しています

職員が守るべき法・規範・倫理に関しては、就業規則にサービスの基本を明示しています。入職時には雇用契約書と誓約書を取り交わし、就業規則と個人情報保護義務の遵守について誓約してもらう方法を探っています。苦情解決制度は入園説明会で伝え、要望や苦情があれば園長を中心に対応しています。職員には権利擁護に関する基本的な禁止事項等を配布し、読み合わせを行い、周知しています。今後は児童福祉法や児童憲章といった背景にある法体系等についても知らせていくことで、さらなる意識の向上が期待されます。

研修の受講などを通じて、虐待防止や職員の不適切な言動の防止に努めています

虐待の防止の前提となる虐待の定義については、資料を配布し職員に伝えていきます。虐待防止の研修にも毎年、職員を派遣しています。職員が不適切な言動を行わないよう、園長が気づいた点や職員同士での気づきを昼の打ち合わせ等で共有・検討し、職員の理解を促しています。今後はヒヤリハット報告の仕組みを活用するなど、より職員の認識を高める取り組みも期待されます。家庭等での虐待等の情報や疑いがあれば、必要に応じて関係機関と連携して対応する体制を取っています。

地域に開かれた園となるための将来的な展望を持っており、実現が期待されます

一日の子どもの様子を写真に撮り、お迎え時に保護者が見られるようタブレットを設置し、活動の様子を知らせて保育の「見える化」を図っています。外部への情報公開は今後の課題としています。地域貢献事業についても今後の課題としており、地域の人を招いての昔遊びの実施や、地域の人にボランティア参加等で当園を利用してもらったり、子育て支援として地域の親子と一緒に外で遊ぶ活動などを将来の展望としており、実現が期待されます。地域の協議会への参加も今後の取り組み課題となっています。

カテゴリ4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリ1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 1/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる 評点(●●●●●)		
評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 3/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている 評点(○○○●)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ4の講評		
<p>災害等に備えたマニュアル類を策定しており、今後のさらなるリスク管理が期待されます</p> <p>園として重要と考えるリスクへの対応として、事故発生時の対応や防災・防犯対策、プール活動・水遊びの注意事項などをマニュアルに記載しています。食物アレルギーについては保護者への協力を得ながら、アレルゲンを含まない食材の選定など、リスクの低減に努めています。今後はさらに、園内外の発生事例なども広く検討した上でリスクを幅広く洗い出し、優先順位を設定するとともに、重要なリスクについての対応策をさらに具体化し、園内での訓練の充実につなげていくことが期待されます。</p> <p>毎月の避難訓練やヒヤリハット事例の記載、周知などの取り組みを行っています</p> <p>月1回、災害・火災等を想定した避難訓練を実施しています。保護者に協力を依頼し、伝言ダイヤルの使用訓練も実施しています。今後は、職員にあらかじめ日時を伝えずに訓練をしたり、ロールプレイの要素を取り入れてマニュアルの見直し、追記につなげる取り組みも望まれます。事故発生時は事故報告書を作成し、原因や改善策、対応・実践の評価等を記載する仕組みがあります。ヒヤリハットは日誌に記載欄を設け、何かあれば職員間で共有していますが、集計・分析し、発生しやすい場所や時間帯を周知するなど、一層の活用も期待されます。</p> <p>個人情報保護にも配慮し、情報管理やアクセス制限等を行っています</p> <p>情報は種類別にファイリングし、ラベルを付けて管理しています。パソコンにはパスワードをかけ、第三者による不正アクセスを防止しています。個人情報を含む情報は外部への持ち出しを禁じています。個人情報保護規程は園に設置されておらず、今後は具体的な利用目的の明示や開示請求への対応方法を法人または園として定め、運用することが望まれます。</p>		

カテゴリ5		
5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリ1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 10/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している 評点(●●)		
評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる 評点(〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる 評点(〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-2(5-2)

組織力の向上に取り組んでいる

サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況

3/3

評価項目1

組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に
取り組んでいる

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリ-5の講評

法人として人材を採用し、各自の適性や経験、希望などを踏まえて配置しています

人材は多様な媒体を通じて募集し、書類選考や統括園長との面接により適性などを考慮して選考し、法人として採用を決めています。今年度は、市主催の私立園就職フェアにも出展する予定となっています。人員配置は、正職員と非常勤職員の組み合わせや各自の経験・能力、希望を踏まえて決めています。勤続年数や職種ごとに求める力量などのキャリア要件は一覧に整理され、キャリアへの道筋は面談で個々に説明しています。

自己評価や統括園長の面談を経て研修目標を定め、各自の能力向上を支援しています

職員の育成に関しては、年1回の園長面談の後、各自の自己評価表をもとに統括園長による面談を実施し、年度の反省と次期の目標を明記しています。研修受講は勤務時間として扱い、非常勤職員にも参加しやすい仕組みとしています。パソコン研修や災害対応、普通救命講習など、個々の力量や園としての必要性を踏まえて研修を選定し、職員を派遣しています。研修受講後には報告書を作成し、職員の連絡ノートに挟んで回覧し、学びを園全体で共有しています。

職員の状況に応じた勤務形態の柔軟な変更など、長く働ける職場づくりに努めています

統括園長は年1回の面談のほか、認可園での合同研修時や、当園への訪問時に職員と必要に応じて面談し、個々の意識の把握に努めています。法人として、ストレスチェックを実施して職員の状況把握に努め、子育てや介護等の事情があれば正職員から非常勤職員に変更するなど、勤務形態を柔軟に見直し、働きやすい職場となるようにしています。内部研修や人事上の配慮、昼の時間帯の調理担当を含めた情報交換や話しやすい雰囲気づくりなどにより、小規模ながらもチームワーク良い職場となるように取り組んでいます。

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

地域に根付き、地域に関われた園となっていきたいとの方向性を持ち、第一歩として、子どもとともに積極的に地域に出て、商店で買い物をするなどの取り組みをしています。今後の具体的な計画や目標の設定はありません。

目標の設定と 取り組み	<input type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

園の目指す姿に対して、次の一歩を明確にして取り組みを推進することが期待されます。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

地域に根付き、地域に開かれた園となっていきたいとの方向性を持ち、第一歩として、子どもとともに積極的に地域に出て、商店で買い物をするなどの取り組みをしています。今後の具体的な計画や目標の設定はありません。

目標の設定と
取り組み

- 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った
- 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった
- 具体的な目標が設定されていなかった

取り組みの検証

- 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った
- 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)
- 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

検証結果の反映

- 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた
- 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない
- 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

園の目指す姿に対して、次の一歩を明確にして取り組みを推進することが期待されます。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ-1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-1の講評		
<p>園のリーフレットや法人のホームページから園の情報を入手できるようになっています</p> <p>園の情報は、「家庭的保育室 ひよっこ はちまん」のリーフレットに、施設概要や保育目標、定員、保育時間、健康管理、保護者の参加行事、一日のスケジュールなど載せ、目で見えてわかるように保育の様子を掲載しています。また、法人で作成した連携園のホームページや「とうきょう福祉ナビゲーション」にも情報を提供しています。法人のホームページは連携園紹介から検索すると、住所や開所時間、定員、延長保育、また2歳児までの園であり3歳児になると連携園に移行できることなどを知らせています。</p> <p>園の情報は市の入園申請パンフレットや子育て情報誌等に提供して知らせています</p> <p>園の情報は、市の入園申請パンフレットや子育て情報誌「子育ての玉手箱」に提供しています。また、市の福祉まつりが秋に開催され、その際に市立保育園協会として園のリーフレットを置いています。市からの紹介による問い合わせ等があれば、園に来てもらいリーフレットを渡しています。現在連携園のホームページには、当園の細かいところまでは載せていないため、子どもたちの保育の一日の流れを掲載したり、毎日更新する等、より詳細な園の情報を提供することを検討しています。</p> <p>問い合わせや見学希望の連絡には柔軟に対応し、見学時には在園児と関わっています</p> <p>問い合わせや見学希望の連絡には丁寧に対応し、見学希望日や連絡先を聞き、感染症が出ている時には日程をずらすように連絡しています。見学の保護者には職員が説明し、遊べる子は園の子どもと過ごしています。家庭的保育室の良さを伝えながら、少人数での生活環境を見てもらっています。見学者は終了後、「問い合わせ・見学対応」の用紙に、氏名や住所、生年月日、園を何で知ったか、現在の仕事の状況等を記入しています。さらに、要望や困っていることなどを記入してもらうことで、保護者のニーズの把握に役立てることが期待されます。</p>		
サブカテゴリ-2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ2の講評

園の利用が決定した際にはサービス内容を説明し、保護者の同意を得て利用を開始します
 入園面接の際には、「保育のしおり」をもとに、保育目標や保育時間、休園日、保護者参加行事、給食、非常災害時及び対策、保育料、持ち物等について、一つひとつ丁寧に説明しています。重要事項説明書には、事業者や保育室の概要、職員体制、入園時に必要な書類、保護者会について、料金、支払方法など詳細にわかり記載されています。内容を説明して、同意を得て利用契約書に署名・押印してもらい、保護者と園で一部ずつ保管しています。また、保護者の意向は児童票に記載しています。

利用開始にあたり、子どもが新しい環境や生活に慣れるように慣れ保育を行っています
 子どもが少しずつ新しい環境や生活に慣れるように、一週間を目途に慣れ保育を行っています。保護者の就労状況や入園前後の子どもの状況により、個々に合わせて時間や日程を調整しています。一人ひとりの子どもの慣れ保育日程表があり、最初は1時間から始まり、2日目はおやつまで、食事は4日目を目安に進めています。その日の状況を保護者に口頭や連絡帳で細かく知らせ、次の日の保育に活かしています。保護者の仕事に合わせて慣れ保育の期間を短くするなど、個々の家庭に合わせて配慮しています。

卒園する子どもたちが連携園に移行できることを保護者に知らせ、不安を軽減しています
 3歳児になると法人の連携園に入園できることをあらかじめ知らせ、保護者の不安を軽減しています。園の2歳児は連携園との交流を行い、3歳児になったときにスムーズに移行できるように配慮しています。行事や避難訓練、また2月には公園で、連携園の2歳児と合流して一緒に活動しています。家庭的保育園は小規模であり、大きな集団としての経験が少ないので、なるべく多く交流し、3歳児になったときに子どもの不安が少しでも軽減できるように取り組んでいます。

サブカテゴリ3

3 個別状況の記録と計画策定 **サブカテゴリ毎の標準項目実施状況** 11/12

評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇●)
---	--	------------------

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
○あり ●なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	○非該当

評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(〇〇)
---	--	---------------

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇)
---	--	---------------

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当

サブカテゴリー3の講評

保育所保育指針改定に伴い、全体的な計画の作成と各指導計画の見直しが期待されます
 保育所保育指針の改定に伴い、長期的な視点から全体的な計画の確認と検討を行うことが期待されます。養護及び教育を一体的に行う保育や非認知能力(自尊心や目標持続性、社交性など)の力を身に着ける重要性、0歳児の3つの視点、1・2歳児の5領域、3～5歳児の5領域を明確にし、幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿などを育むための全体的な計画や指導計画を連携園とともに作成することが期待されます。

子どもの発達のめやすを保護者と共有し、共育てに活かす取り組みが期待されます
 園には0～2歳児の子どもが5名おり、発達や年齢をおさえた各指導計画を作成しています。年間指導計画から週日案を作成し、日案の目標に達するまでの子どもの姿や職員の反省を記載しています。さらに、個々の成長を記録する「個別成長記録」を作成しています。朝夕は子どもの状況や家庭の様子など、保護者に連絡帳や口頭で、日々の情報を共有できるようにしています。今後は、さらに保護者に子どもの姿や発達のめやすを知らせ、子育ての楽しさを伝えながら保護者と子どものことを共有し、共育てに活かす取り組みが期待されます。

子どもの状況等に関する情報は、職員連絡ノートや口頭で日々伝えて共有しています
 職員は日々全職員で、子どもや保護者の変化を共有しています。個々の記録は個別ファイルにして、職員が必要な時にはいつでも確認できるようにしています。また、情報を得た時には職員連絡ノートを活用したり、口頭で確認して共有しています。2歳児が3歳児になるときは、連携園にスムーズに移行できるように、面接記録など個々の記録をすべて申し送り、口頭でも伝えていきます。

サブカテゴリー5			
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部和やりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリー5の講評			
<p>子どもの羞恥心に配慮した保育を行えるように職員一人ひとりが心がけています</p> <p>一人ひとりの子どもの成長・発達を考慮し、0歳児から子どもの羞恥心に配慮した保育を行うように心がけています。おむつ交換時は周りから見えないように、決められた場所で行っています。着替えは、上着を脱いだら上着を着るなど、脱いだ順に着ることができるよう声かけながら、やりたい気持ちを尊重し行っています。自分でやりたい気持ちを大切に、自分で出来たことを一緒に喜んで自信に繋げています。家庭的保育事業園の良さを生かした丁寧な保育を行っています。</p> <p>子ども一人ひとりの気持ちを受け止め、人権を尊重しながら保育を行っています</p> <p>園には人権擁護のマニュアルがあり、職員で確認しながら、子ども一人ひとりを尊重した保育を行っています。ゆったりとした空間の中で、子どもの発する言葉や行動を見守り、子どもの気持ちを受け止めています。日々のかかわりの中で保護者の気持ちを受け止め、子どもの気持ちを伝えて、保護者や子どもの気持ちを尊重しながら、個々に対応するようにしています。子どもにかける言葉や、職員同士の会話で気になる時には、園長がその都度声をかけたり、後で知らせて、適切な言葉かけができるようにしています。</p> <p>虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の理解が深められるようにしています</p> <p>市の虐待防止の研修に参加した職員は、研修報告書を提出し、回覧して全職員で共有し、保育に活かしています。人権擁護のマニュアル等、言葉かけの仕方や基本的ルールを全職員で読み合わせています。保護者の対応で気になることがあった場合には、手順に沿って対応できるようにしています。日頃から家庭との連携をとり、細やかな配慮ができるように努めています。利用者調査(保護者アンケート)では、職員との信頼関係についての設問で「どちらともいえない」という答えもあり、今後はさらに信頼関係を深めることが期待されます。</p>			
サブカテゴリー6			
6	事業所業務の標準化	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	4/5
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当	

評価項目2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点(○●)

評価	標準項目	
○あり ●なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当

サブカテゴリ-6の講評

園独自のマニュアルを作成し、業務の基本や手順が明確になるようにしています

園独自のマニュアルは、事故発生時のマニュアルや防災・防犯対策マニュアル、プール活動・水遊びマニュアル等があり、業務の基本や手順が明確になるようにしています。わからないことがある時には、マニュアル類を綴じた冊子を活用し、基本ルールを振り返っています。プール活動や水遊びの際には、事前にマニュアルを確認してから行うようにしています。さらにマニュアルを身近なものにするために、定期的な読み合わせが期待されます。

職員・保護者等からの意見・提案や子どもの様子を反映して見直しを行っています

アレルギー対応食の提供では、日々の実践を通して、より良い提供方法を検討し、その都度改善しています。職員間でロールプレイを行いながら、マニュアルの記載内容よりも良い手順があれば、マニュアルをより明確にし、手直しするようにしています。厚労省からの通達の内容に沿って、気温が35℃以上の時には外遊びをしないことや、プールに入れない時にも、外で見学は行わないように注意しています。提供しているサービスのマニュアルは、連携園が一括して、定期的な見直し・点検を行っています。

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

		サブカテゴリー4	
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	
		34/34	
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている			
		評点(00000)・非該当1	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		<input checked="" type="radio"/> 非該当
評価項目1の講評			
<p>一人ひとりの子どもの発達状況を把握し、職員間で観察力を高め全体的姿を捉えています</p> <p>入園時に、子ども一人ひとりの発達過程や入園前の生活、家庭環境などを丁寧に聞き取り、新入園児面接票に記載しています。個別成長記録に子ども一人ひとりの成長を細やかに把握し記録しています。家庭的保育事業であり、5名の子どもを常勤職員と非常勤職員で保育しています。年齢別の担当職員を決めていますが、職員全体でも連携を図り、子どもの情報を共有し、全職員が観察力を高めて全ての子どもの姿も把握しています。子どもの全体的な姿は日々の保育での観察と、継続的に記載している個別成長記録から一人ひとり捉えています。</p> <p>3つの室内を開放的に使用し、主体的に遊ぶことのできる環境設定に努めています</p> <p>常に3つの室内を開放して広々としたスペースにしており、それぞれの部屋で子どもたちが主体的に遊ぶことのできる環境を工夫しています。床に線路やホームベースをビニールテープで示して乗り物を走らせたり、ペットボトルをバットに見立てて野球ごっこで遊んでいます。室内には乳児期(0~2歳児)に大切な手指を使った遊びのために、フェルトの魚型ボタンつなぎやスナップでつなぎ玩具が手づくりされています。身体を動かして遊ぶことができるように、大きな段ボールの車輪付き車や牛乳パックで作った電車など、工夫した環境設定に努めています。</p> <p>年齢別保育を考慮しつつ、日常的に異年齢保育で過ごしています</p> <p>子どもは0歳児1名、1・2歳児各2名の5名で、早朝や夕方の延長保育の時間帯だけでなく、日々の生活や遊びを通して一緒に散歩や戸外活動に行ったりしながら、日常的に異年齢の関わりを持っています。0~2歳児の年齢間であっても、年齢の高い子どもの遊びを模倣して遊びが広がり、また、年齢の低い子どもを手伝ってあげる気持ちや、仲間意識が育まれています。生活や遊びでは、基本的に異年齢で交流を図っており、年齢の発達を捉えた活動内容に集中して取り組む際には、コーナーを設定して行っています。</p>			
2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている			
		評点(0000)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		<input type="radio"/> 非該当

評価項目2の講評

登園時の様子や保護者との会話、連絡帳から状況を把握し、対応した保育を行っています

早朝や夕方の延長保育にかかる子どもは少なく、登園時には基本的に担当職員が受け入れています。登園時の子どもの健康状態は、担当職員が子どもの体調や保護者から気になることを聞きながら視診を行って健康観察表に記載し、個人の連絡帳からも把握しています。個人の連絡帳を活用し把握していますが、十分に保護者との会話の中から家庭での様子や健康状況が把握でき、家庭と園とで子どもの姿を共有することができます。子どもや保護者の状況や気になることは、即、職員間で共有し、連携して子どもの状況に対応した保育を行っています。

一人ひとりの発達に応じて、基本的生活習慣の自立に向けて取り組んでいます

子ども一人ひとりの発達や状況に合わせて個別目標を立て、保護者と共に基本的生活習慣の自立に向けて取り組み、丁寧に支援しています。日常の保育で個々の発達を把握し、一人ひとりの状況に応じた基本的生活習慣の自立に向けて取り組んでいます。保護者と連携し、連絡帳と日々の会話を通して園での具体的な支援方法を伝え、子どもの排泄間隔等を把握して、トイレトレーニングなどを無理なく進めています。子どもたちは少人数の保育の中で、日々、視覚からも、排泄や着脱、食事の食べ方、睡眠等について共に学び、育ち合う姿が見られます。

降園時に子どもや活動の様子を保護者との会話やデジタルフォトフレームで伝えています

降園時にその日の保育の様子を保護者に伝えるために、子どもの一日の活動の様子をどの職員も把握しています。その日の保育活動と子どもの様子、エピソード、体調面での様子等は連絡帳に記載していますが、お迎えの際に、保護者との会話を通して伝えています。また、活動での子どもの様子はデジタルフォトフレームで流しており、この画像を見ることで、保護者が職員からの話や連絡帳に記載してある活動内容の理解を深めることができ、子どもの成長を職員と共に喜び合うことに繋がっています。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当

評価項目3の講評

遊びこめる環境の中で、子どものやりたい・遊びたいことの意味を尊重しています

3つの室内で食事や午睡、遊びの場所を確保し、家庭にしているような環境・空間作りを努めています。室内には子どもの手が届く高さに玩具のコーナーや棚があり、子どもの年齢や発達に応じた玩具を設置しています。子どもの興味や関心、子どもの遊びの動線に合わせて、その時々で入れ替えや用意をしています。温かみのある職員の手作り玩具が多数あり、子どもたちは、今やりたいことや遊びたいことを意思表示し、遊びこんでいます。職員は子どもの思いを尊重し、ゆったりと見守りながら一緒に遊んでいます。

絵本や手遊び、ごっこ遊びなどの遊びを通して言語を獲得し、言語感覚を養っています

職員は年齢の違う子ども一人ひとりの思いを受け止め、安定した関係性の中で発語や言語獲得、言語表現に繋がる保育に努めています。日常の保育で絵本や手遊びなどを通じて言葉のリズムや響きを楽しみながら、発語や子どもたちの言語獲得に繋げています。ごっこ遊びは室内のみならず、公園でも垣根をお店に見立てて開店し、「いらっしやい」の言葉のやり取りが始まっています。おやつ後にデジタルフォトフレームを見ながら、楽しかったこと等を振り返り、話をすることや、話を聞くことも言語獲得・理解と言語感覚を養う一つの機会になっています。

全身を十分に動かし、子どもたちが主体的に遊ぶことのできる戸外活動に取り組んでいます

天候が良ければ、朝の会で子どもの遊びたい公園などの意向も反映させて、戸外活動に出かけています。子どもの思いを優先し、徒歩20分くらいの距離の所にも出かけ、十分に遊びこんでいます。子どもたちは、お散歩マップに貼ってある写真を見て決め、そこでは何をして遊ぶことができるかも理解しています。日々の積極的な戸外活動の取組みに対して、今回の利用者調査(保護者アンケート)では、「戸外遊びや行事などにより、自然や社会とかかわる機会は十分に確保されているか」の問いに、100%の保護者から満足を得ています。

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当

評価項目4の講評

行事に取り組む際は、子どもが興味や関心を持ち、イメージが広がるよう配慮しています

保育ルームを利用している子どもの年齢が0～2歳児であることに配慮して、行事に取り組む際には子どもたちにわかるように工夫しています。行事に関連した絵本の読み聞かせや行事に使う道具などを子どもと一緒に作ったり、子どもにわかる言葉で話し、年齢に応じて興味や関心をもち、イメージが広がるように努めています。季節の行事(プール、運動会、クリスマス会、お正月遊びなど)や日本の伝承行事(端午の節句、節分会、ひな祭りなど)も大切にし、職員はわかりやすく子どもたちに由来を伝え、関連した出し物を見せています。

連携園と一緒にを行う運動会や納涼会では、保護者と子どもの成長の姿を共感しています

運動会や納涼会などの大型行事は、連携認可園に行き、合同で開催しています。運動会の競技は連携園の同年齢の子どもたちと一緒にするため、練習も園単独で取り組むだけでなく、連携園の同年齢の子どもと一緒に何度か練習しています。運動会の練習時は、両園が交流をもつ機会にもなっています。3歳児になる時には連携園の3歳児クラスに移行でき、事前に連携園の納涼会にも親子で楽しく参加し、子どもも保護者も連携園の様子を知ることができます。運動会は子どもは頑張った気持ちを持って、保護者と職員は子どもの発達の姿を共感し合うことができます。

年度初めに年間行事予定を配布し、毎月のだよりや連絡帳、口頭でも周知しています

年度初めに年間行事計画表を配布して説明し、毎月のだよりでもその月の行事予定を記載しており、保護者参加行事への理解を促すとともに、参加の協力依頼をしています。また、近々の行事について、保護者に直接、口頭で伝えて周知しています。子どもの行事の取り組みの様子は、日々の連絡帳や降園時に保護者一人ひとりに伝え、行事への理解を深めてもらうように努めています。行事実施後に保護者アンケートを配布し、保護者から出された要望や意見については、職員が反省会を行い、次年度に反映できるように検討しています。

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
---	--	--------

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当

評価項目5の講評

家庭的な環境の中で、子どもが安心・安定して過ごせるよう配慮しています

子どもが安心・安定して過ごせるように、家庭的なゆったりとした環境を整え、安全に配慮した保育を行っています。早朝・夕方の保育の時間帯の子どもは少ないので、一人でも安心して過ごせるように配慮しています。職員と一対一の関わりを大切に、夕方睡眠をとる子どもがいる場合は個別に対応しています。くつろげる場所を設定したり、ゆったり絵本を読んだり、個々の子どもが好きな遊びができるスペースを確保した保育に配慮しています。

少人数の時間帯の玩具提供を工夫し、個の気持ちを大切に配慮しています

子どもたちがゆったりと過ごせる環境と楽しく遊ぶことのできる環境を整え、早朝・夕方保育の時間帯には日中で遊んだ玩具に変化を持たせ、子どもが楽しく遊びたいような雰囲気心がけています。早朝・夕方保育の時間帯には、少人数だから出せる特別感のある玩具(小さめの玩具)や遊具を用意したり、園庭で小型滑り台などの固定遊具で遊び、気分転換ができるように配慮しています。降園までの時間を子どもの気持ちを大切に過ごしています。

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(0000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当

評価項目6の講評

メニューを工夫し、子どもの発達に配慮したバランスの良い食事を提供しています

連携する小規模園の栄養士が作成した献立に基づき、子どもの発達に配慮した栄養バランスのとれた給食を提供しています。旬の食材を生かした調理や白米には押し麦を入れる等工夫し、和食中心の食事を作っています。調理室はカウンター式の対面型で、子どもは調理の様子を見ることができ、調理作業中の香りや食材を切る音などを五感で感じています。季節の行事に合わせて、ひな祭りのちらし寿司やハロウィンでのかぼちゃのスープ、クリスマスにはスノーマンの型押しご飯にカレーなど、子どもたちが喜ぶように盛り付けに工夫して提供しています。

食物アレルギーのある子どももみんなと一緒に食べることができるように考慮しています

食物アレルギーのある場合、「アレルギー等除去願い」「問診表」に保護者が記載し、「医師の見解書」、「食物アレルギー調査書」を提出し、アレルギー面談を行っており、みんなと一緒に食事を食べることができるよう考慮しています。全家庭に、アレルゲンである小麦の完全除去食の食事に変更することの依頼の書面を配布し、保護者一人ひとりに口頭で説明も行き、了解のもとに子どもみんなに同じ食事を提供しています。職員のアレルギーに対する意識化のために、同じ食事内容であっても食器を変え個別トレーに配膳し、テーブルも変えて提供しています。

子どもの年齢に応じた、「食」への関心を高める取り組みを行っています

食育計画には0～2歳児の年齢別にねらいと内容・配慮を記載し、五感から食への関心を高めることや食事のマナー等、年齢に応じた無理のない取り組みを記載しています。子どもは園庭で、プランターを活用し畑作業をし、きゅうりの苗植えや水やり、収穫をして調理してもらい食べ、「見て、触れて、食べる」食の一連の流れを体験しています。野菜洗い(じゃがいもや人参)やキャベツの葉をむくこと、八百屋さんでのお買い物体験などを通して、0～2歳児という年齢に合った、食への興味や関心を高める取り組みを行っています。

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当

評価項目7の講評

安全・健康指導に取り組み、子どもが習慣的にできるよう努めています

年間保健計画を基に、保育や遊びの中で子どもの安全・保健指導に取り組んでいます。年間保健計画の年間目標に「心身ともに丈夫で健康な子ども」を掲げ、職員は毎月、子どもに健康な生活リズムをつくることや手洗い・うがい指導、暑さに対応できるからだづくり、歯みがき指導、けがについて伝えるなど、生活習慣を整え個々の発達に応じた生活力を身につけるように支援しています。手洗い・うがいの大切さを、習慣的にできるように日々繰り返し伝えていきます。災害時に子どもが怖がらずに身を守れるよう、毎月、多様な避難訓練を行っています。

医療的ケアが必要な子どもの情報は職員間で周知し、迅速な対応に努めています

入園時に保護者からアレルギーや疾病を持っている子どもの情報を確認し、緊急時の対応を検討し、与薬の必要がある場合は医師の見解書を提出してもらい対応しています。医療的ケアが必要な子ども一人ひとりの注意点や配慮事項、緊急対応手順を「かかりつけ医療機関について」の書面に記載し、職員間で確認して情報を共有しています。医療的ケアが必要な子どもには、嘱託医や連携園の看護師と相談しながら、迅速な対応を図る体制を整えています。

感染症の情報は、保健に関する資料の掲示や保健だより等で提供しています

入園時に、入園のしおりで感染症について説明しています。感染症が発症した場合は、感染症名や症状、潜伏期間、対応などについて、迅速に保護者一人ひとりに口頭で伝えています。感染症の流行が予想される時期には、毎月の保健だよりでも早めに情報を提供して注意を喚起し、感染症の予防や拡大の回避に努めています。乳幼児突然死症候群(SIDS)予防のポスターを掲示し、午睡時に0歳児は5分、1・2歳児は10分ごとに呼吸や寝ている様子を確認し、安全な睡眠を確保しています。室内環境の消毒、布団干しなど、衛生管理にも努めています。

8 評価項目8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目8の講評

保護者には、子育てや就労等の一人ひとりの事情に配慮して支援を行っています

入園面接時や個人面談で、保護者の子育て状況などを把握し、個々の家庭や子育て事情に柔軟に対応しています。子どもの年齢にかかわらず、職員は一人ひとりのことを把握し、全職員が共通した対応が取れるようにしています。利用者調査(保護者アンケート)では、「毎日の保育サービス」についての設問が8問ある中で、7問が満足度100%という結果であり、一人ひとりの事情に配慮した支援を行っていることがうかがえます。保護者とは、送迎時の会話や連絡帳でやり取りし、細かいところまで柔軟に対応できるように配慮しています。

保護者懇談会や保育参加等、保護者同士が交流できる機会を設けています

保護者懇談会は、育児について悩んでいることや喜びを共有したり、保護者同士が交流を深める機会になっています。人数も少なく家庭的な中で話し合いであるため、話しやすい雰囲気になっています。園では、保護者に年1回、保育参加の機会があることも伝えていきます。保育参加では、朝の登園後に子どもと一緒に体を動かして遊んだり、おもちゃで遊んだり本を読んだり、日々の子どもの姿を見ながら食事の時間まで参加し、親睦が深められるようにしています。また、職員は保護者の悩みを一緒に考えたり、喜びを共にしたりする機会を設けています。

保育参加を活かし、保護者との養育力向上や共通認識を得る取り組みを行っています

保育参加は保護者同士の親睦の機会だけでなく、保護者の養育力向上や園と保護者が共通認識を持つことも目的にして、取り組んでいます。職員と一緒に保育に関わってもらうことで、子どもの園での様子や子ども同士の関わり、職員が子どもにどのように対応しているかを見てもらっています。子どもへの接し方の参考にしたり、自分の子どもを客観的に見る機会を得ることで、保護者の養育力が向上し、共通認識を得ることができるように取り組んでいます。

9 評価項目9

地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当

評価項目9の講評

地域との関係性を築いて、多様な体験や交流ができるような機会を設けています

子どもが園に慣れたところに、電車の乗車体験を行ったり、正月には出初式を見学したり、交番に挨拶に行くなど、様々な人と交流し、体験できるような機会を設けています。近隣の八百屋さんに行き、園の給食で使う食材の買い物をする経験も子どもたちの楽しみの一つです。また、地域の図書館のお話し会に参加したり、市の保育園の園庭開放に参加したり、園庭で同年齢の子どもたちと交流し、遊べる機会を設けています。

園行事に地域の人を招いたり、地域行事に参加する等の交流の場作りが期待されます

連携園との交流は、3歳児に移行する準備のほか、運動会や納涼会の行事を一緒に行っており、両園の子ども同士の交流や、子どもが他園の職員と交流することも目的に行っています。園の中は家庭的なつくりであり、たくさんの人の参加は難しい現状ですが、職員には地域に園を知ってもらいたいという気持ちがあり、見学に来た子どもと一緒に遊んだりすることもあります。今後に向けては、園内だけでなく公園で地域の親子と一緒に遊ぶことや、お年寄りとの交流で昔遊びを覚えてもらうことなどを、園を知ってもらう機会として、積極的に検討しています。

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	5-1-3	事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる
タイトル①	職員が個人目標に沿って研修を受講し、成果の振り返りができるようにしています	
内容①	職員は、法人内の認可園園長(統括園長)との面談を経て、個々の年間目標を「研修兼目標」に記載しています。統括園長・主任が目標に応じて研修の受講を勧め、正職員は年2回以上、非常勤職員は年1回以上の研修参加目標がほぼ達成されています。研修の1か月後、6か月後、1年後に成果を振り返る欄もあり、研修を実務に生かしやすい仕組みです。個々の研修がどのようなスキルアップにつながったかを自己評価する書式も作成しています。非常勤職員が対応可能な業務内容を申告する制度もあり、一人ひとりが能力向上を意識できる工夫が見られます。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル②	子どもの思いを受け止め反映した戸外活動に取り組み、豊かな保育を展開しています	
内容②	保育ルームの前に庭があり、他にも子どもたちが身体を十分に動かして、主体的に遊ぶことができる戸外活動に取り組んでいます。子どもたちにもわかりやすく、様々な遊びができる近辺の公園の写真を添付しているお散歩マップがあり、朝の会で子どもが行きたい公園を決定しています。子どもたちの徒歩で10分～20分ほどかかる公園もありますが、しっかりした足取りで出かけ、日々の積み重ねにより脚力や身体運動能力を高めています。時には八百屋さんに食材の野菜などの買い物ごっこにも行きリュックに入れて持ち帰り、日々豊かな保育を展開しています。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目		
タイトル③		
内容③		

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	保育目標に掲げている保育を丁寧に実践することにより、乳児でも自分の思いをはっきり伝えることのできる子どもが育まれています
	内容	保育目標として、家庭的な環境や少人数の環境の下で個々の発達に応じた生活力を身につけ、心身ともに安定した成長や「できた」気持ち(達成感)を感じることで保育を目指し、推進しています。日々の保育で、職員は一人ひとりの子どもと向き合い丁寧に受け止め、年齢・発達を考慮した保育活動や異年齢保育を行っています。第二の家庭のように温かな職員との関係性の中で、のびのびと感性豊かな子どもが生まれ、言語獲得もできており、自分の思いや気持ちをはっきりとした言葉で表現している姿に、きめ細やかな保育の成果を見ることが出来ます。
2	タイトル	2歳児までの家庭的保育事業園ですが、3歳児から移行できる連携認可園とは事前に交流し、子どもたちが集団に慣れるようにしています
	内容	当園は0～2歳児までのゆったりとした少人数の環境で、子どもたちが自分のやりたいことをじっくり取り組むことを大切に保育を行っています。3歳児になると、連携認可園の3歳児クラスに入園できます。園では子どもたちが集団の経験をしてから転園できるように、事前に連携園との交流を行っています。連携園の行事の納涼会や運動会に、練習の時から一緒に参加し、取り組んでいます。行事以外にも避難訓練に参加したり、進級が近くなる年明けには2歳児が公園で合流し、連携園に遊びに行くなど、子どもたちが集団の活動に慣れるように配慮しています。
3	タイトル	職員育成の体系やマニュアル等の文書・記録類の整備など、家庭的保育事業でありながら、認可園に準拠した園運営の仕組みとなっています
	内容	市内に系列の認可保育園や小規模保育事業を持つ法人が運営しており、認可保育園の園長が当園の統括園長として、園長と連携しながら園運営にあたっています。防災・防犯・プール活動等のマニュアルや保育の計画・記録の書式などの仕組みが整備されています。また、職員は3園での人材交流があり、毎年の自己評価や統括園長との面談、非常勤職員を含めた研修派遣など、育成の仕組みも整っています。家庭的保育事業でありながら、認可園に準拠した運営の仕組みや経営層・職員の相談機能があり、安定した園運営を行いやすい体制となっています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	0～2歳児の個別の指導計画を、全体的な計画から年間指導計画へと系統立てて作成し、保護者と共有することが期待されます
	内容	園では、子ども一人ひとりの年間指導計画を作成し、毎月「個別成長記録」に記載しながら、一人ひとりの子どもを丁寧に保育しています。一方で、個別の指導計画を作成するときには、全体的な計画や指導計画、子どもの実態、子どもを取り巻く状況など取り入れながら作成することが望まれます。保護者には、子どもの様子や成長を、日々の会話の中や連絡帳で伝えるようにしています。さらに、園と家庭とが同じ観点に立てるよう、一人ひとりの子どもの育ちを大切に、保護者に月のねらいや目標をわかりやすく伝え、共有することが期待されます。
2	タイトル	より豊かな保育のため、会議等で行事の取り組み経過や結果、課題を整理し、次へ活かせる記録の取り方とファイリングの工夫が期待されます
	内容	子どもたちに日々豊かな保育を展開すると共に、日常の保育に変化と楽しさを持たせることのできる行事を実施しています。連携園の大型行事(夏まつり、運動会)への参加や、園での年齢に応じた日本の伝承行事の取組みを、保育の充実につなげています。今後、現在の行事や保育の維持・発展を図り、子どもにより豊かな保育を提供していくためには、行事の取り組み経過や結果、課題を振り返る職員会議等の記録が、次へ活かすマネジメントに役立ちます。そのための記録の取り方とファイリングの工夫が期待されます。
3	タイトル	防災・防犯や事故対応等のマニュアルが策定され、訓練も実施していますが、危機管理能力の向上のための今後のさらなる工夫が期待されます
	内容	園として重要と考えるリスクへの対応として、一定の対応手順を策定しています。地震や火災などを想定した毎月の避難訓練や、伝言ダイヤルの使用練習等も行っています。今後は、訓練の日時を事前に職員に知らせずに実施したり、より具体的な想定のもとでロールプレイを実施するなど、訓練の内容を充実させる工夫が望まれます。また、そうした訓練の実施後にマニュアルを見直し、より具体的に手順を盛り込んでいくことによる、危機管理能力向上への取り組みも期待されます。